

「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」

令和6年度 クレジット販売開始！



福岡市では、博多湾のアマモなどによる二酸化炭素の吸収・固定を通じて、温室効果ガスの削減を目指す「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」を令和2年度に創設し、販売収益をアマモ場づくり活動など、博多湾の環境保全創造の取組みに活用しています。

このたび、令和6年度のブルーカーボン・クレジットを以下のとおり販売しますので、広報についてご協力をお願いいたします。



FUKUOKA CITY
 博多湾
 ブルーカーボン
 オフセット

【概要】

■販売クレジット総量: **37.7** t-CO₂

■販売価格: **8,800** 円 / t-CO₂(税込)

※**0.1 t-CO₂**から**10 t-CO₂**まで購入できます。

■販売期間: **令和6年10月1日(火)～令和6年12月13日(金)**

※購入申込書等は福岡市ホームページからダウンロードできます。

—ブルーカーボンとは—

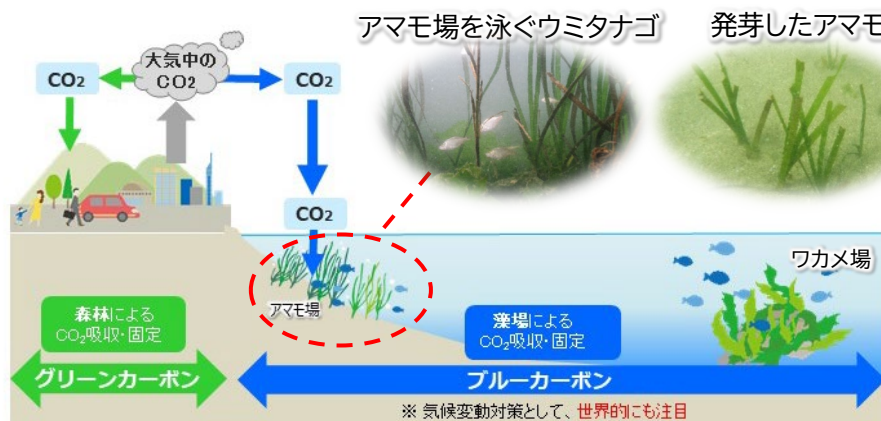
アマモや海藻などの藻場が吸収・固定する二酸化炭素を「ブルーカーボン」と呼び、脱炭素社会の実現に貢献することで世界的に注目されています。



【アマモ場の役割】

アマモは、地下茎や種子で増える海の中の植物「海草」です。

アマモ場は「海のゆりかご」と呼ばれ、魚のすみかや産卵場所として海域の生物多様性保全において重要なだけでなく、近年は二酸化炭素の吸収・固定に寄与する「ブルーカーボン生態系」としても注目されています。



2015年の国連総会で採択された持続可能な世界を実現させるための2030年までの国際目標です。本制度は、SDGsを支援しています。

<問い合わせ先>

港湾空港局港湾計画部 みなと環境政策課

担当: うえお 上尾、江淵

電話: 092-282-7153

福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度

アマモ場など、博多湾の藻場によるCO₂の吸収・固定量をクレジット化[※]し、そのクレジットを企業や市民に購入していただくことで、博多湾の環境保全活動の推進を目指す制度です。

<クレジット化>[※]

温室効果ガス削減・吸収量を、決められた方法に従って数値化し取引可能な形態にすること。



販売収益を活用し、志賀島や今津などでアマモ場づくり活動を行いました



アマモの種子団子の作成



アマモの種子団子
(寒天)



アマモの種子を海に投入

令和5年度にクレジットをご購入いただいた団体（公表希望団体のみ掲載）

- ・株式会社 SNC
 - ・博多港ふ頭株式会社
 - ・ASPIDA 株式会社
 - ・東洋建設株式会社 九州支店
 - ・九州計測器株式会社
 - ・西日本技術開発株式会社
- ・エコワークス株式会社
 - ・一般財団法人九州環境管理協会
 - ・博多湾環境整備株式会社
 - ・東亜建設工業株式会社 九州支店
 - ・株式会社ピエトロ

（順不同、敬称略）

ふくおか応援寄付でアマモ場づくりを応援

ふくおか応援寄付(福岡市ふるさと納税)でもアマモ場づくりを応援することができます。寄付の使い道として、『豊かな博多湾を次世代につなぐ「海のゆりかご」アマモ場づくり』を選択することで、アマモ場づくりなど、博多湾の環境保全創造の取組みを応援することができます。



※詳細はふくおか応援寄付ホームページをご覧ください。

